

滋賀・長浜城遺跡
ながはまじょう

1 所在地 滋賀県長浜市公園町地先

2 調査期間 第一三六次調査 二〇〇六年(平18) 十一月～二〇〇七年三月

3 発掘機関 長浜市教育委員会

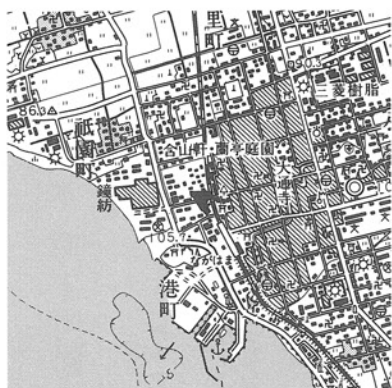
4 調査担当者 池寄陽一・牛谷好伸

5 遺跡の種類 城郭跡・集落跡

6 遺跡の年代 一三世紀～一八世紀

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

調査地はJR長浜駅の北西約二〇〇mに所在する。遺構は一三世紀のものが中心で、溝や柱



(長 浜)

穴・土坑が多数検出された。それらの遺構と重複する形で一五世紀の遺構が築かれており、さらに一八世紀には長浜城の堀が築造されている。その他、埋土に六世紀から一〇世紀の遺物が混入している遺構もある。

木簡は、調査区北西寄りで検出した土坑の埋土中程から一点出土した。この土坑からは、他に灰釉陶器・土師器皿・土師器・須恵器・羽釜などの遺物が出土している。羽釜は瓦質足釜の足部分で、一三世紀のものである。木簡の年代もおおむね同時期と考えられる。

8 木簡の釈文・内容

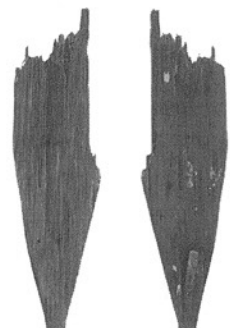
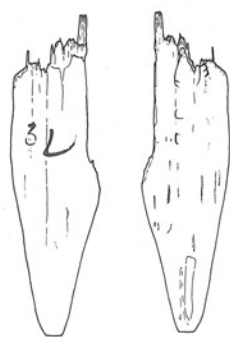


(61.5)×39×3 059

上部は欠損しており、下端は尖らせている。表裏両面に文字が記されているが、釈読できない。

9 関係文献

長浜市教育委員会『長浜城遺跡 第一三六次調査報告書』(二〇〇七年)



(池寄陽一)